

つながる、ささえる、680万

連合救援ボランティアレポート

第 20 号
2011 年 5 月 13 日

| 1

活動レポート



宮 城

●千厩拠点

【5/12】気仙沼市波路上地区の畑で、散在しているがれきの清掃作業を実施。

現地から 坂を 50 メートル上った先にある家は無傷。まさに津波被害の境界線での作業でした。依頼者の要望に応じて、使用できる漁具や記念品などは極力分けるよう気を配りました。作業中に潰れた金庫やポーチを発見、権利書などの重要物が入っており、依頼主に大変喜ばれました。現場にはクギのついた木材も多くありましたが、互いに声を掛け合い注意しながら作業しました。

福 島

●福島拠点

【5/11】相馬市内で被災家屋からの家財搬出・泥出し、新地町では道路側溝の泥出し・清掃を実施。

●会津拠点

【5/12】郡山市とその周辺の避難所で、炊き出しや野菜切りなどを実施。避難所別に野菜を分け、カットと水洗い。炊き出しは 5ヶ所に分散して鶏つみれ汁を作る。また、会津若松では、支援物資の整理・配布などを行い、約 1,000 人の来所者に対応した。

●いわき拠点

【5/12】いわき市内で津波被害を受けた店舗兼住宅の清掃・整頓を実施。また、ボランティアセンターでの備品貸し出し・受け取りなどの業務を行った。

現地から 店舗部分は米屋の倉庫。床に散乱した米にはカビが生えていて大変でした。住居部分も衣類などが散乱し、依頼主も整理する意欲を失っている様子が気になります。

「活動のてびき」「現地情報」を更新しました

本日（5/13）、連合救援ボランティア活動のてびき、各拠点の現地拠点の情報を更新しました。詳細は発信文書でご確認ください。



写真で見る各地の活動



■側溝の泥出し作業中の一コマ（11日・福島県新地町）



■家屋からの家財搬出、土砂除去（11日・福島県相馬市）



■ボランティアセンターで資材班として活躍する連合チーム（12日・福島県いわき市）



■道路を挟んで両側の畑で清掃活動。魚やワカメの腐敗臭とたたかいながらの作業が続く（12日・宮城県気仙沼市）



■家屋の整理作業を行う。その前にまずは家屋への通路確保から（12日・福島県いわき市）